令和５年５月17日発行　第201号

こうふ町 議会だより

人が集うまちへ スタート!!

5年度予算 他 ……2P～5P
予算の審議 ……6P～8P
参考意見 ……9P～11P
一般質問 ……12P～13P
議員発議・陳情 ……14P
組合議会報告 ……15P

議会のことをわかりやすくお伝えします

未来へ向け積極的な予算編成

令和５年３月定例会は、３月６日から24日までの19日間の日程で開催され、本年度の一般会計及び特別会計並びに条例改正など37議案について慎重審議し、原案通り可決しました。

本年は、佐川地区移住定住促進住宅と交流拠点施設を民間と連携しての整備。子育て支援や教育環境の整備として保育料の無償化や義務教育学校の給食費無償化の継続。町の魅力づくりと情報発信として、「水のふるさと奥大山ＳＤＧｓ宣言」を起点に５月には奥大山自然塾を開校し、併せて隣接する木谷沢渓流の整備。また、せせらぎ公園をはじめとした、町内の公共施設について、新たな民間企業と連携協力しての活性化。さらに、鳥取大学、鳥取県文化振興財団と学術文化面の連携などが挙げられています。加えて、検討課題として旧役場庁舎跡地をはじめとする遊休施設の用地化や空き家の活用などがあります。

その結果、令和５年度一般会計歳入歳出予算総額は49億５千万円となり、特別会計11会計歳入歳出予算総額は、13億９千万円で合計63億４千万円となります。一般会計予算としては前年対比１２３．１パーセントの積極的予算編成となっています。

一般会計　令和５年度予算主なもの

- 移住促進住宅整備事業（新規）2億5,000万7千円
- 地域交流拠点施設整備事業（新規）2億922万8千円
- DX推進事業（新規）8,830万6千円
- SDGs推進関連事業（新規）6,646万円
- 奥大山自然塾推進事業（新規）2,040万4千円
- 新甘泉圃場整備事業（新規）1,400万円
- サテライトオフィス整備事業（新規）6,200万円
- 出生御祝金の増額（継続）235万円
- 学校給食費無償化事業（継続）617万2千円
- Wi-Fi環境整備補助（継続）652万8千円
- 奥大山ウエルカム奨学金 120万円
- せせらぎ公園トイレ設置事業 120万9千円

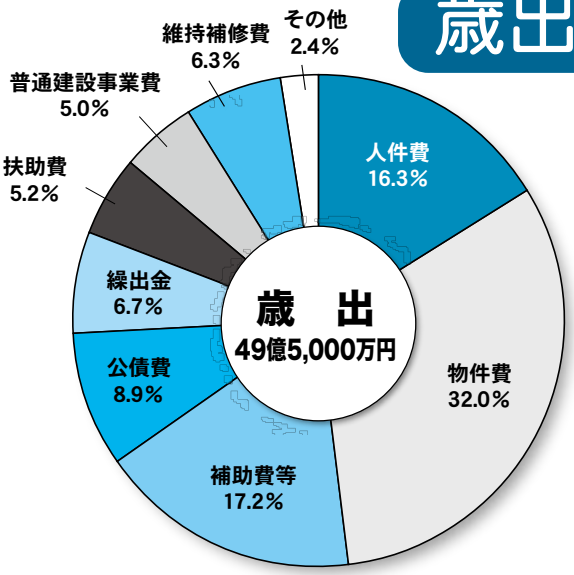
江府町制施行70周年の年

令和５年度予算、一般会計49億5000万円　前年比123.1％

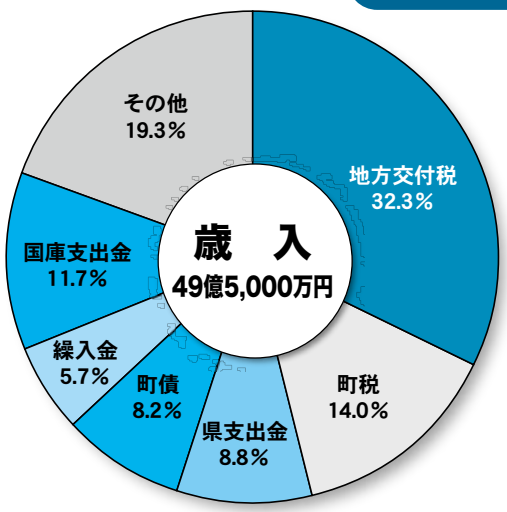
（単位：万円）

項　目		令和５年度	令和４年度	増　減	説　明
歳入	地方交付税	16億円	15億4,500円	5,500万円	国税からの交付金
	町税	6億9,500万円	7億663万円	△1,163万円	町民、企業からの税金
	県支出金	4億3,671万円	4億3,842万円	△171万円	県から交付されるお金
	町債	4億780万円	2億8,740万円	1億2,040万円	町の借金
	繰入金	2億8,372万円	2億1,387万円	6,985万円	基金から繰り入れるお金
	国庫支出金	5億7,790万円	2億8,887万円	2億8,903万円	国から交付されるお金
	その他	9億4,887万円	5億3,981万円	4億906万円	ふるさと応援基金寄付金他
	合計	49億5,000万円	40億2,000万円	9億3,000万円	
歳出	人件費	8億490万円	7億4,873万円	5,617万円	職員の給与、議員等の報酬
	物件費	15億8,323万円	9億9,893万円	5億8,430万円	各施設整備事業等
	補助費等	8億5,697万円	7億518万円	1億5,179万円	ふるさと納税返礼品他
	公債費	4億4,202万円	4億1,191万円	3,011万円	町の借金の返済分
	繰出金	3億2,920万円	3億1,686万円	1,234万円	特別会計への繰出し分
	扶助費	2億5,639万円	2億5,264万円	375万円	法令に基づき支出されるもの
	普通建設事業費	2億4,547万円	2億4,209万円	338万円	サテライトオフィス整備、消防署移転整備事業等
	維持補修費	3億985万円	1億9,406万円	1億1,579万円	各施設維持管理修繕等
	その他	1億2,970万円	1億4,960万円	△1,990万円	
	合計	49億5,000万円	40億2,000万円	9億3,000万円	

歳出



歳入



特 別 会 計（11会計）
公営企業会計　（2会計）

特別会計、公営企業会計については３月14日に審査が行われ３月24日の最終日に参考意見が付され、いずれも可決されました。

令和５年度は、住宅新築資金貸付事業特別会計に代わり、新たに移住促進住宅特別会計が計上されました。これは令和5年度に佐川地区に整備完成予定の江府町移住促進住宅（12戸）について、維持管理運営を行うものです。

奥大山自然塾開校に伴う周辺整備や国民健康保険特別会計（事業勘定）（施設勘定）においては多数の意見が交わされました。詳細は以下（４ページ・11ページ）の通りです。

（単位：万円）

特　別　会　計	令和５年度	令和４年度	増減額	繰入金
移住促進住宅	704万円	－	704万円	510万円
国民健康保険（事業勘定）	3億3,649万円	3億5,892万円	△2,243万円	2,396万円
国民健康保険（施設勘定）	2億7,726万円	2億3,607万円	4,119万円	8,371万円
介護保険事業（保険事業勘定）	5億9,516万円	5億9,360万円	156万円	1億401万円
介護保険事業（サービス事業勘定）	327万円	293万円	34万円	0円
介護老人保健施設	8,654万円	1億1,155万円	△2,501万円	6,744万円
後期高齢者医療	5,526万円	5,606万円	△80万円	1,826万円
索道事業	2,199万円	2,054万円	145万円	2,199万円
江尾財産区	223万円	230万円	△7万円	0円
神奈川財産区	158万円	166万円	△8万円	0円
米沢財産区	394万円	430万円	△36万円	80万円
合　　計	13億9,076万円	13億8,793万円	283万円	3億3,008万円

（単位：万円）

公　営　企　業　会　計	令和５年度	令和４年度	増減額	負担金補助・出資金
簡易水道事業				
収益的収入	7,760万円	7,554万円	206万円	2,825万円
収益的支出	1億2,023万円	1億1,521万円	502万円	
資本的収入	1億763万円	1億8,416万円	△7,653万円	5,163万円
資本的支出	1億2,069万円	2億103万円	△8,034万円	
下水道等事業				
収益的収入	1億5,605万円	1億7,412万円	△1,807万円	7,410万円
収益的支出	1億6,699万円	1億8,716万円	△2,017万円	
資本的収入	1億5,762万円	1億2,915万円	2,847万円	7,432万円
資本的支出	1億9,924万円	1億6,926万円	2,998万円	

第２回江府町議会３月定例会

令和4年度江府町一般会計補正予算（第11号）

補正前　5,053,273千円　　補正額　△119,202千円　　補正後　4,934,071千円
内訳については、除雪対応やそれに伴う緊急対応のものがありますが、全体で決算の見込みにより減額となっています。

第１回江府町議会臨時会

1月19日に、第1回江府町議会臨時会が開催されました。

令和4年度江府町一般会計補正予算（第10号）について

補正前　5,042,583千円　　補正額　10,690千円　　補正後　5,053,273千円
（主な内訳）

歳　入

出産・子育て応援交付金（国庫補助金　1,000千円、県補助金　250千円）
寄附金（企業版ふるさと納税　9,440千円）

歳　出

総務費

財産管理費
旧庁舎及び高齢者創作館解体工事費（増工分）12,028千円
旧JA神奈川支所購入経費　12,239千円
過疎バス対策費
日ノ丸自動車路線維持支援金　981千円
交流施設管理費
大山プラネタリーキャンパス整備委託料　9,440千円
地方創生推進交付金事業費
移住促進住宅整備事業　不法投棄物処分委託料　18,051千円
木材等解体処分増工経費　5,755千円
戸籍住民基本台帳費
出産・子育て応援事業　750千円

衛生費

母子衛生費
出産・子育て応援事業　1,500千円

商工費

観光施設管理事業費
索道会計繰出金（エバーランド第2リフト購入追加経費）3,970千円

●事業をピックアップ

旧庁舎及び高齢者創作館解体工事の契約額
変更前　82,500,000円
変更後　95,027,900円

奥大山江府学園教育用タブレット購入
契約金額　9,284,000円

財産の取得（旧ＪＡ神奈川支所）
取得金額　12,238,004円（内訳：土地 3,812,462円、建物 8,425,542円）
※建物のうち倉庫部分の屋根の修繕が必要であり、取得金額から減額されることとなった。（3月議会で変更を承認）
変更前　8,425,542円
変更後　7,677,542円（差額748,000円は修繕料相当分）

一般会計

予算の審議
役場のすべての課及び出納室・農業委員会・議会事務局の予算について質疑応答がなされました。

総務課

Ⓠ江尾マーケット解体の委託設計について、経営者の了解は？
Ⓐ了解は取れています。

Ⓠこの度の大雪を考えると、役場車庫の新設が必要では？
Ⓐ6年度に向けて検討を始めます。

Ⓠ旧米原分校の活用状況は？
Ⓐ校舎の改修を進め、活用を活発にしていきます。

Ⓠ交通安全指導員は、受け手がないと聞くが、報酬の改善等を検討すべきでは？
Ⓐ今後、受けて頂きやすい対応を考えていきます。

Ⓠせせらぎ公園のトイレは早く出来ないか？
Ⓐトイレの仕様や倉庫などへの要望と合わせ検討が必要です。

トイレ整備が待たれるせせらぎ公園

Ⓠ小水力発電の募集があったが結果は？
Ⓐ3件の応募がありました。調査によれば、候補地は18か所位あるが、今後検討していきます。

Ⓠふるさと納税の返礼品の内容充実は？
Ⓐ物品の充実とともに、町内に人を呼び込むことも考えていきます。

ⓆＤＸ推進事業の、誰一人取り残さない対応は？
Ⓐスマートフォンの支援に続き、防災の目的もありますので、タブレットを貸与し、防災無線の情報を送ることも検討していきます。

Ⓠ米原地区の農村型地域振興交付金の使途は？
Ⓐ地元組織で利用し、10,000千円の内容については、今後計画書を作成します。

入り口を改良し利用拡大が望まれる山村開発センター

Ⓠ開発センターの出入り口を検討し、施設利用拡大の計画は？
Ⓐ今後の需要の状況により、活用方策を検討していきます。

Ⓠ奥大山周辺環境整備事業の内容は？
Ⓐ交付金の性格上、工事事業は出来ません。調査・計画策定をし、検討していく内容です。

住民生活課

Ⓠ町営バスの更新時期は？
Ⓐ10年、10万キロを目安としています。

Ⓠ空き家管理サービスの支援事業の新設は？
Ⓐ令和5年度に行うアンケートの結果を検討してから行います。

Ⓠ第3子誕生の助成事業の広報は？
Ⓐ子育て支援策と合わせて、積極的に進めていきます。

神奈川店舗に代わる「ひまわり号」

Ⓠマイナンバーカードの町内交流施設での利用は？
Ⓐ総合的に検討していきます。

Ⓠ移動販売車の購入事業内容は？
Ⓐ1台増車し、軽自動車2台体制で回り、ひまわり号は、神奈川店に固定します。

Ⓠ民間福祉施設の閉所に対する対応は？
Ⓐ個別に対応しており、今後も他の施設と連携をとっていきます。

Ⓠファミリーサポートセンター事業は有料ですか？
Ⓐ1時間800円。無償化については、現在は出来ないが、今後検討していきます。

Ⓠ子育て世代包括支援センター事業のショートステイ、デイサービスはどこで行っていますか？
Ⓐ米子市内の病院を予定しています。

Ⓠ脳ドック対象者が69歳までとあるが、人生100年時代に合わないのでは？
Ⓐ対象年齢を精査してみます。

農業委員会

Ⓠ農業委員の地区別は考えないか？認定農業者の割合は？
Ⓐこれまでの話を聞きながら対応していきます。認定農業者は1／2以上が望ましいです。

産業建設課

Ⓠ道の駅駐車場の用地は？
Ⓐ鉄工所跡の日野川側を予定しています。

Ⓠジビエ加工施設にしっかりとした運営支援は？
Ⓐ適切に対応していきます。

Ⓠ和牛農家を守るための継続的な支援は？
Ⓐ農地保全も総合的に考え、継続できるように検討します。

Ⓠ猛毒の茸が発生しているが、その実態は？
Ⓐ毛無山、木谷沢で確認されており、県の巡視員が駆除しています。

サテライトオフィス予定の旧ＪＡ神奈川支所

Ⓠサテライトオフィスの利用対象は町外のみか？
Ⓐ町内外を対象としています。

Ⓠしっかり守る農林基盤交付金事業の地元負担率は？
Ⓐ40％です。

Ⓠ地籍調査の進捗率は？
Ⓐ16％です。

教育委員会

Ⓠ学校給食の米飯の割合は？
Ⓐパン食は、各学期1回の年間3回で、あとは米飯です。

Ⓠ i Pad（アイパッド）のさらなる有効活用を図るべきでは？
Ⓐ今後さらに活用を工夫して進めていきます。

Ⓠ隣保館活動に以前あったカラオケ教室の復活は？
Ⓐ集会所職員と相談して検討します。

Ⓠ議会事務調査で、図書館の可動式書架の設置要望があったが？
Ⓐ施設を総合的に考え検討します。

Ⓠ運動公園の職員数増加の内容は？
Ⓐシルバー人材センター派遣をやめ、会計年度職員を採用し、3名体制としました。

特別会計

索道事業

Q奥大山スキー場の修繕料の内容は？また、すべての機械は正常に可動するか？

A修繕料はホイールローダーや圧雪車等の消耗品の交換です。また、すべての機械は正常に可動します。

国民健康保険（施設勘定）

Q江尾診療所のスタッフは労働基準法等、労働三法はきちんと守られているか？

Aスタッフは労働時間や休日の取得等、法律は遵守しています。

Q定年が近づいた医師の後任はどうなっているか？

A医師の定年が70歳に延長になりましたが、後任医師の確保は今後も努力を続けていきます。

改良予定の俣野診療所

Q超音波画像装置は高額であるが、リースはないのか？

Aリースはありますが、購入とリースと金額はあまり変わりません。また、医療用機器は、5～7年で更新しなくてはならないため、購入します。

Q地区診療所の旧俣野小学校玄関の階段に手摺りを付けるとのことだが、スロープに変更することは考えてないか？

A今のままでスロープに変更することは、傾斜角度が急になりできません。ほかの場所からのスロープはあります。

Q俣野診療所の単独の収支額を示してはどうか？

A検討します。

介護保険事業

Q安心ホットラインは具体的にどんな対応をしているのか？

A警備会社に依頼して毎月1回「おうかがい電話」の形で近況等を聞いています。

Q車いすに乗ったまま体重測定が可能なバリアフリースケールは70万円と高額だが、リースも考慮したのか？

Aバリアフリースケールは10年以上使用可能なので購入した方が安価と判断しました。

簡易水道事業

Q今年の大雪で柿原地区が一週間程度の断水となり、大災害となったのはなぜか？

A水源地が停電となり、揚水ポンプが停止したからです。

停電が発生した場合の警報装置が、未設置のため被害が拡大したものです。令和5年度に、各施設に警報装置を整備していく計画です。

下水道等事業

Q管路点検をすべきではないか？

A令和4年度は管路点検を実施しました。令和5年度も実施します。住民皆様の協力をお願いします。

柿原水源施設

一般会計

予算特別委員会 参考意見

令和５年度の一般会計予算について３月８日、９日、13日の３日間に渡り予算特別委員会で審査されました。主な事業としては、佐川地区の住宅整備事業やＤＸ推進事業、消防署移転整備事業が挙げられます。特に佐川地区の地域交流拠点整備、移住促進住宅整備事業には３億８,７００万円が計上され、今後の本町の発展が渇望される重要な事業が実施されます。限られた財源ですが、充実した他の自治体にない公共資源を有効に活用して、新たな事業展開や更なる住民サービスの向上に期待するところです。

尚、起債残高は、普通会計で４５億１,４００万円、特別会計、公営企業会計と合わせ、７３億１,０００万円となります。

以下担当課及び事業内容について委員会より参考意見が付され可決されました。

総務課

①ＤＸ推進事業は、今後において本町の多方面での、住民サービスの向上に欠かせない事業である。誰一人取り残さない事業推進が何より重要であり、多角的な推進を期待する。迅速で着実な実行に努められたい。

②奥大山自然塾の開校については、プラネタリーヘルスなど他の事業展開に呼応しながら、広く世界に向けて発信できる事業となるよう最大限の工夫で事業展開に努められたい。

活用が検討される旧役場庁舎跡地

③ふるさと納税については、企業版ふるさと納税も期待が持てる状況となってきた。財源の乏しい本町においては大きな存在となり、今後も、おおいに期待される。幅広い活用と地元産品の推奨も合わせ、更なる促進に努められたい。

住民生活課

①移住促進住宅整備事業、地域交流拠点施設整備は、本町の人口減少を改善する最重要事業であり、その期待は大きく、町民の生活環境の向上につながる事業でもある。空き家、空き地対策と合わせ総合的に推進し住民の期待にこたえられるような事業推進に努められたい。

移住促進住宅整備事業、地域交流拠点施設整備予定地（佐川旧パチンコ店跡地）

②買い物難民問題は、大きな問題となっている。現在、移動販売業者に対して各種サービスを委託して、その課題解消を進めているが、状況を鑑みると安心して住民サービスを提供できる保証はない。地元企業と十分連携を計りながら、住民の信頼を得るよう努められたい。

産業建設課

①商品開発事業は、今後も期待される事業である。より多くの商品化を進め、ふるさと納税の返礼品など、新たな販売促進開発を検討努力されたい。

②農業振興は本町の基幹事業であるが、現状は非常に厳しいといえる。国、県の補助基準の事業だけでなく、中山間地に適合するような、本町独自の支援事業の開発に努められたい。

農事組合法人「すがさき」耕作地全景

③集落営農体制については、その推進速度は十分とは言えないが、徐々に整いつつある。引き続き組織設立が促進するよう指導体制の確立に努められたい。

教育委員会

①ふるさと教育は持続可能な町づくりには重要な事業である。江府町に関心と魅力を感じる教育の更なる充実を期待する。また、小地域懇談会の充実など一層の人権教育の向上に努められたい。

②本町児童・生徒の教育環境の向上については、ＩＣＴ環境などを充実させ、ライブラリー授業の活用など、さらに促進されるよう努められたい。

③保育園については、新年度から本格的に整備事業の推進が図られるが、新しい保育所事業への住民の期待は大きい。関係者の声を十分に尊重し、希望の持てる保育園建設に向け努力されたい。

保育園移転先予定地
（佐川旧パチンコ店跡地上側）

特別会計

予算特別委員会 参考意見

索道事業

令和5年度に乗用草刈り機を購入予定となっている。奥大山自然塾が開校し、多くの人々がスキー場に集まることが予想されるため、安全に配慮した上で、一層的確に、リフトをはじめとする機器や環境の整備及び管理をされたい。

国民健康保険（事業勘定）

令和5年度は糖尿病予防対策の委託料が減となっているが、今後とも健診の充実等により早期発見、早期治療を行い、医療費抑制をさらに進められたい。

国民健康保険（施設勘定）

診療所医師の定年退職年齢が70歳となり、現職医師の懸念は当面解消されたが、然るべき時点においては、鳥取大学医学部と連携を密に取り、後任医師の招聘（しょうへい）を実現されたい。また、勤務時間や休日の取得など負担軽減にも努められたい。

旧俣野小学校を利用して地区診療がなされている。令和5年度は環境整備として手摺り、エアコンの設置を予定しており、今後クラウドファンディングで流し台、トイレ等の改修を考えているが、必要に応じて早急に実施されたい。

改良が待たれる俣野診療所トイレ

介護保険事業（保険事業勘定）

現在各種ケアマネージメントの外部委託に当たっては、良質のサービスとして利用者から好評を得ているが、発注者の立場、また官民一体としての事業遂行のためにも職員の資格保有は有意義と考えられる。したがって、今後においては資格取得の機会を適時与えられたい。

介護老人保健施設

介護老人保健施設あやめにおいて、経年劣化を理由に利用者用ベッド80台のうち40台の更新を計画している。今後も導入方法については、起債の活用、リース契約なども含めて検討されたい。

簡易水道事業

令和3年度の平均有収水率は68.1％となっており、令和2年度に比較して3.1％向上しているが、評価の水準にはない。平均を下回っている地区の漏水調査として150万円計上しているので、徹底的に調査されたい。

加えて、今年の大雪で柿原地区が断水となり、大災害となった。これは停電となった場合の警報装置が無かったために被害が拡大したとも考えられる。順次、各施設に警報装置を設置されたい。

下水道等事業

令和5年度も管路点検を実施する。特にポンプ及び基盤等の点検修理を推進されたい。今後、合併浄化槽での実施地区は日ノ詰、大河原、美女石、大谷、栗尾の一部となっており、移住定住促進にも影響するため早期に実施されたい。

奥大山自然塾46億年の遊歩道

空き家活用の促進とその対応方法について

森田 哲也

動画で一般質問

森田議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

空き家確保等に対する住民意識の向上と認識度について

質問 空き家問題は、地域の問題。空き家の活用は大変重要な課題であるが、住民に認識が行き届いていないのでは。また行政職員にもその認知度が低く、連携が十分に取れていないのではないか。

町長答弁 空き家は個人のもので、行政が強引に進められない。集落への聞き取り調査や、帰省のシーズンに空き家相談会を開催している。行政職員についても組織を上げて体制がとれているかは、十分とは言えない。

空き家管理など新しい住民サービス事業の開始について

質問 空き家は個人資産であるが、地域の公共資産として捉えることが重要。今、空き家管理は民間企業への委託が全国的に増加中とあった。空き家管理を行政が支援すれば、優良空き家の確保と空き家バンクへの増加が期待できると考える。

町長答弁 中学生議会の際、空き家クリーンアップ作戦という話の中で、会社を作ってはどうかということが過去にあった。取り組む機運があれば考えてみてもよいと思う。

空き家の多角的活用について

質問 空き家活用も移住者のためだけの活用は難しくなってきている。人口減少社会で空き家は、貴重な資源。空き家の多角的活用を考える時ではないか。周辺住環境の整備を含め公共的施設を加えて、多様な利用の仕方を考えてみては。

町長答弁 移住定住の相談件数が増加している。住める場所の確保が一番問題であり、優先順位の一番はそこだと考える。江府町に住んでいただくための対策をまずとっていきたい。

山村開発センターなどの再利用について

質問 空き家を放置しない方法を考えるべき。例えば、要望のある雨の日の遊ぶ場所への再利用など。また、開発センターをリノベーションし、江美城周辺の常設展示場は江尾十七夜と合わせて、本町の象徴になるのではと思う。

町長答弁 山村開発センターは2階に大広間があり、1階はオフィスとして利用できる。サテライトオフィスとして官民が共同で利用出来ればと思う。また、江尾駅周辺は、空き家の利用で、賑やかな町づくりが可能ではとも思う。

地域住民等との連携による空き家対策委員会の設置について

質問 空き家の確保には、地域に信頼関係のある仲立ちが必要で、行政をはじめ区長等、民間、産業、学術研究などとの連携による空き家対策委員会設置が必要と思うが。

町長答弁 行政だけではなかなか難しく、信頼されている地域の皆さんとの協力は重要。ただ、私は、特別に委員会をつくらなくても個別に対応していけばよいと考えている。

多角的な再活用が期待される山村開発センター

ランドセル重量軽減・認知症患者への対応は？

阿部 朝親

動画で一般質問

阿部議員の一般質問は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

ランドセル重量軽減の取り組みは

質問 重そうなランドセルを背負って通学している姿を見て、児童の成長に影響があるのではないかと心配している。ランドセル重量は体重の15％が適正重量と言われており、1年生では3kg程度である。タブレットによる学習の機会が増えており、タブレットを利用したペーパーレス化等による重量軽減に取り組む考えはないか。

町長答弁 新聞のコラムに、1年生の体重から換算すると、大人が15kgの荷物を持って歩いていると同じであるとあり、やはり重たいのではないかと思う。対策としてタブレットに全部の教科書を入れる事は物理的には可能であると考えるが、この辺りの対策については教育委員会から答える。

教育長答弁 教科書の大型化、副教材の活用等により重くなっている。町ではランドナップの推奨、持ち帰る教科書は国語と算数の2教科にするなど重量軽減に取り組んでいる。教科書でなければ出来ない事もあり、今後もデジタル教科書の実用化等見据え負担軽減対策を行っていく。

認知症患者対策について取り組みは

質問 高齢者の増加に伴い認知症の方も増加していると考える。認知症の方の中には行方不明となられる方もある。GPSにより、位置情報が得られる小型の器具があるが、これを利用しスマホで位置確認する事で、短時間で発見することができ、捜査側の大幅な負担軽減となると考える。器具が5千円程度、通信料が月額550円程度であり、町が全額負担しても、事故が起こった時の人的・金銭的負担を考えると財政的負担は軽微なものと考える。保育園児から高齢者まで必要な方に貸し出すといった方法により、誰も取り残さない安心安全な生活環境を整える必要な設備であると考えるが、導入される考えはないか。

町長答弁 認知症の方の行方不明捜査対応については、自分も実際直面したこともあり心配しているところである。行方不明となったら警察と連携して対応することとなっているが、地域のつながりが大切であると考える。エアタグと言うものがあり、スマホで位置確認ができ、自分も親に持たせているが、エリアがあり万能ではない。町が全額負担との事であるが、強制的に全員に持たせる事にはならない。関係家族から導入希望があれば補助制度を考えてもよいが、やはり見守りが基本と考える。

位置情報が得られる小型器具

議員発議

発議第１号 内容：会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定に関する意見書提出について

提出理由：陳情第一号を採択したことによる。

提出先：内閣総理大臣ほか担当大臣

背景と現状：２０２０年から会計年度任用職員制度がスタートしましたが、今なお、「官製ワーキングプア」と揶揄される状況にあります。良質で安定した行政サービスの維持・向上のためには処遇の改善、雇用の安定が急務となっています。

提出者：総務経済常任委員会
委員長　川端登志一

発議第２号 内容：江府町議会の個人情報の保護に関する条例について

提出理由：令和５年４月より施行される個人情報保護に関する３つの法と各地方公共団体の個人情報条例には議会が対象となっていないため。

提出先：江府町議会議長

提出者：議会改革調査特別委員会
委員長　阿部朝親

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、３月定例議会で審査した結果、下記のとおり決定しました。

受理番号及び受理年月日	件　名	提出者	付託先	審議結果
陳情第１号 令和４年 12月８日	会計年度任用職員の処遇改善に向けた法改正と雇用安定を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長　山口　一樹 江府町職員労働組合 執行委員長　田本　丈一	総務経済常任委員会	採　択 （全員一致）
陳情第２号 令和４年 12月26日	日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情	コドソラ 代　表　与那城千恵美	教育民生常任委員会	趣旨採択 （全員一致）
陳情第３号 令和５年 ２月２日	「安保関連3文書」閣議決定の撤回、「敵基地攻撃能力」の保有や防衛費2倍化に反対する意見書の提出を求める陳情書	憲法改悪反対鳥取県共同センター 代　表　田中　　暁	総務経済常任委員会	採　択 （全員一致）
陳情第４号 令和５年 ２月13日	安保関連３文書の閣議決定に抗議し、大軍拡・大増税の中止、くらしと福祉に予算をまわすよう求める「意見書」採択を求める陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 （鳥取県革新懇） 代表世話人　山内　淳子	総務経済常任委員会	趣旨採択 （全員一致）
陳情第５号 令和５年 ２月13日	政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める陳情書	鳥取県農民運動連合会 会　長　雑賀　敏之	総務経済常任委員会	趣旨採択 （全員一致）

日野病院組合議会報告

●職員の給与に関する条例他1件の一部改正を可決
●職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例及び個人情報保護法施行条例が制定された
●令和４年度病院事業他２件の事業会計補正予算を可決
●令和５年度病院事業他２件の事業会計予算を可決

日野病院

議案以外の報告事項

・令和４年度病院事業決算見込みについて
・令和５年度病院事業等の概況について
・病院組合職員の移動及び採用について
・日野郡の医療連携に係る人事交流について
・クラウドファンディングによる人工透析送迎車の購入について

〇鳥取県内でもトップクラスの地域医療を実践・教育できる病院となっており、今後益々日野病院独自の魅力となるよう地域医療学講座との連携を強化していきたい。

日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告

●衛生施設組合個人情報保護法施行条例が制定された
●衛生施設組合情報公開条例の一部改正を可決
●令和５年度衛生施設組合会計予算を可決
総額　２億1,509万６千円（内 江府町負担金 8,291万１千円）

議案以外の報告事項

・**長期継続契約物件について**（令和４年度契約５年間）
①清化園：施設警備に関する契約
②くぬぎの森：電気設備の保安に関する契約
・**くぬぎの森　覚書（黒坂７区自治会）**
ごみ処理施設継続使用に伴う更新一時金の支払い及び害獣（イノシシ・鹿）の焼却処理受け入れ並びに害獣焼却に伴う慰霊塔の建立（自治会による設置管理）

クリーンセンターくぬぎの森

鳥取県西部広域行政管理組合議会報告

●令和５年度当初予算　57億9,845万4千円　前年対比　９億506万円（18.5％）増
（内 江府町負担金　１億2,150万４千円（前年対比 1,639万３千円の増））

〇コロナウイルス感染症や国際情勢の不安定等により先行きが見通せない状況であるが、公共施設等総合管理計画、施設個別計画及び消防力等整備５か年計画を踏まえ施設改修等に取り組みを推進する。また、令和５年度から新たに江府消防署の移転新築事業が開始される。

私のひとこと

佐川　篠村　知子

絵本を通して

私は読み聞かせグループの一員として奥大山江府学園での朝の読み聞かせに参加しています。子どもの頃から本に親しんで読書が大好き！という訳ではなく…むしろその逆でテレビばかり見ていて本の思い出はごく僅かでした。

そんな私が絵本を好きになったのは子どもが生まれてからでした。生後三ヶ月の息子に絵本を読んでみたとき、絵と私の顔を交互に見ながらにこにこと笑顔になり、手足をばたばたと動かして喜んでいる姿に感動したのです。今、振り返ると息子は母である私の表情や声に喜んでいたのかもしれませんが、その時、絵本は親子をつなぐ不思議な力があるのだと感じ、子育てに欠かせないアイテムになったのです。

寝る前に子どもが選んだ絵本を読む「絵本タイム」を楽しんでいますが、子どもがお話の世界に入り込んでいる表情を見るとうらやましくなります。子どもが絵本の中で様々な体験をしているのがわかります。私は子どもの頃にほとんど読まなかったのですが、ふと大人になって子どもの頃に好きで何度も読んでいた絵本に再会したとき、部屋の空気感や絵本の世界に一瞬で入り込んで楽しんだことを思い出したことがあります。しんどい時や悩んでいる時にそのような温かい思い出がふわっと心を包んでくれました。これが絵本、読書体験の力の一つなのだと実感しました。

これからもたくさんの子どもたちと様々な絵本を楽しんでいきたいです。

一つでも多くお気に入りの作品に出会えたり、目には見えないけれど絵本を通して感じたことがいつか心の支えになるかもしれません。心に種まきをするような気持ちで絵本を選び、届けていきたいです。

あとがき

今回の議会広報が20－号となり、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思います。新年度予算が成立し、エバーランド奥大山には奥大山自然塾・佐川地区には移住定住を設定した住宅並びに商業施設新設など多くの事業が開始される年度となります。江府町奥大山江府学園も初めての卒業生を送り出し、新入生を迎えることができました。コロナ感染症は2類から5類へとなりますが、気持ち的にはまだまだ以前の生活には戻れそうには有りません。今後とも皆様が笑顔で過ごせる町となるよう努めてまいりますので、ご指導いただきますようお願いいたします。

阿部　朝親

広報公聴常任委員会

委員長　三輪　英男
副委員長　川端登志一
委　員　阿部　朝親
　　芦立　喜男
　　加藤　周二

発行／鳥取県日野郡江府町議会　編集／広報公聴常任委員会
〒689-4401　鳥取県日野郡江府町大字江尾1717番地1　TEL／0859－75－3307　FAX／0859－75－3411
ホームページURL：http://www.town-kofu.jp　印刷／冨士印刷